

第3次みやぎ21健康プラン関連事業の実施状況

資料 5

取組分野										ライフコースアプローチ			事業名	事業概要	令和6年度事業の実施状況(R7.2末現在)	担当課
No.	生活習慣の改善				生活習慣病の発症予防と重症化予防				子ども	高齢者	女性					
	栄養・食生活(マルコリー高値)	身体活動・運動	たばこ	睡眠・休養	歯と口腔の健康	がん	循環器疾患	糖尿病				COPD				
1	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	みやぎ21健康プラン推進事業	県民の健康寿命の延伸を図るため、「第3次みやぎ21健康プラン(以下、プラン。)(計画期間:R6～R17年度)の進行管理及び効果的かつ継続的な推進を図る。また、多様な主体との連携・協働体制の構築のため、プランの普及を行う。	1 みやぎ21健康プラン推進協議会の開催 2 みやぎ21健康プラン有識者ワーキングの開催 3 第3次みやぎ21健康プラン普及事業 ・広報紙、研修等における周知 (県政だより1回、関係団体誌1回、研修会・会議等4回) ・プラン冊子の印刷及び配布 ・みやぎ健康月間(11月)における取組の収集とホームページでの情報共有	健康推進課	
2	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	スマートみやぎプロジェクト	県民の健康づくりを推進するため、スマートみやぎ健民会議(県民運動)を核とし、市町村や民間企業等との協働により、全ライフステージへの切れ目のない支援体制を構築する。	1 スマートみやぎ県民会議(県民運動)の周知・広報・参加団体拡大 【登録状況】一般会員:1028団体、優良会員:31団体、応援企業:53団体 ・令和6年度みやぎ食育と健康づくりのフェスタの開催(R6.11.14 186人参加) (健康づくり優良団体表彰、健康づくりセミナー、応援企業出展等) ・令和6年度スマートみやぎ健民会議代表者会議の開催(R6.11.14) ・歩数アップチャレンジ2024の開催 ・デジタル身証アプリを活用した健康増進ミニアプリの運用【新規】 2 みやぎヘルスサテライトステーションを活用した健康づくりの啓発普及 【登録状況】148施設(R5年度末)→159施設(R7.2) 3 子どもの健康なからだづくり推進事業における市町村、幼稚園、保育所、学校と連携事業の実施(各保健所)	健康推進課	
3										○	○	メタボリックシンドローム対策戦略事業	本県の健康課題であるメタボリックシンドローム対策として、各保健所において地域特性を踏まえ、健康づくりを実践しやすい環境整備などの取組を推進する。 また、保健指導従事者の質の向上を目的に特定健診・保健指導に係る研修会を開催する。	1 企画・評価会議の開催(各保健所) ・各圏域で市町村、教育機関、医療保険者、職域、関係団体等と、地域の健康課題を共有し、取組の内容、評価等の検討を行う。 2 地域課題を踏まえたメタボリックシンドローム予防啓発事業の実施(各保健所) ・各圏域で企業や職域保健関係機関と連携し、健康づくりを実践しやすい環境づくりを推進する。 3 特定健診・特定保健指導従事者育成研修会の開催 ・初任者編、経験者編を開催(初任者編104人、経験者編39人修了)	健康推進課	
4							○	○				地域・大学連携による健康づくり対策促進事業	メタボリックシンドローム該当者・予備群の割合の減少や生活習慣病予防対策を大学の最新の知見による健康課題の分析結果を踏まえ、健康施策立案に係る人材育成を進める。	1 県民の健康課題の評価・分析事業 ・メタボリックシンドロームに関連する県民の生活習慣等の分析について、東北大学大学院医学系研究科に委託 2 人材育成セミナー「みんなでのぼそう！健康寿命セミナー」(R7.3.19)	健康推進課	
5		○										歩数増加のイベント等	日常生活において歩数増加に取り組める機会の提供や、事業所等における健康づくりの機運醸成を目的としたイベントを開催する。	【再掲】 ・歩数アップチャレンジ2024の開催 ・デジタル身証アプリを活用した健康増進ミニアプリの運用【新規】	健康推進課	
6	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	みやぎのデータヘルス推進事業	データを活用し科学的根拠に基づき生活習慣病の発症予防及び重症化予防対策をPDCAサイクルで展開するため、保健・医療・介護等に関するデータの収集・分析を行い、本県の特徴的な健康課題やその要因となる生活習慣等を見える化する。	1 保健・医療・介護のデータ集計・分析 (1)「データからみたみやぎの健康」の作成 (2)「データからみたみやぎの健康」概要版の作成 2 データからみたみやぎの健康活用研修会の開催	健康推進課	
7	○											みやぎの食環境づくり推進事業	健康寿命の延伸を目指して、産学官の連携・協働による宮城の食の特性に配慮した、健康的で持続可能な食環境づくりを推進する。	1 みやぎの食環境づくりプロジェクト (1)企業等との意見交換会等の開催 (2)市町村栄養対策担当者会議の開催(1回) 2 ベジプラス100&meo推進事業(産学官連携) (1)みやぎベジプラスメニューの商品化(10品、4企業、7大学参加) (2)ベジプラス普及コーナーの設置(一部ベジ測定コーナー) (3)ベジプラス動画の配信(11月 視聴回数117,062回、表示回数341,326回) (4)ホームページによる取組状況の発信(随時) (5)企業・大学等との連携による普及啓発 (6)地域でもベジプラス(各保健所)	健康推進課	

No.	取組分野									ライフコースアプローチ			事業名	事業概要	令和6年度事業の実施状況(R7.2末現在)	担当課
	栄養・食生活・食育（みやぎ食育）	身体活動・運動	たばこ	睡眠・休養	歯と口腔の健康	がん	循環器疾患	糖尿病	COPD	子ども	高齢者	女性				
8	○									○			みやぎの食育推進戦略事業	宮城の特性を活かした食育を総合的かつ計画的に推進するための指針として策定した「第4期宮城県食育推進プラン」に基づき、行政、家庭、学校、保育所及び地域が連携し、県民一人一人が多彩で豊かな宮城の食を通し、心身ともに健康で豊かな生活を送ることを目指す。	1 みやぎの食育推進事業 (1)みやぎ食育と健康づくりフェスタの開催(1回、186人参加) (2)子ども向けインタラクティブ動画の制作及び普及（フェスタ、すこやか応援団、ルルブルフォーラム、食育ハンドブック等） (3)みやぎ食育推進月間における普及啓発 (4)みやぎ食育通信の発行(2回) (5)メディアと連携した普及啓発 ・食育ハンドブックの配布(全小5生) ・ラジオ番組を活用したみやぎ食育応援団等の活動紹介(毎月1回、1団体) (6)企業等と連携した食育イベントの開催 (7)地域の食育推進事業(各保健福祉事務所) 2 食育・食生活実態調査の実施(35市町村、6,000人対象) 3 みやぎの食育連携事業(みやぎ食育応援団支援) (1)みやぎ食育コーディネーター研修の開催 (2)みやぎ食育コーディネーター派遣マッチング	健康推進課
9	○										○		食生活改善普及事業	・県民の適切な食習慣・食行動の実践・定着を目指すことを目的に食生活改善のための普及啓発を行う。 ・第3次みやぎ21健康プランを踏まえて、ライフコースアプローチとして、主に高齢期の健康づくりとして、豊かでバランスの取れた食生活の実践による低栄養・フレイル予防を普及する。	1 食を通じたフレイル予防に係る普及啓発 (1)フレイル(低栄養)に係るリーフレットの作成、配布(各市町村) (2)普及コーナーの設置(フレイル予防 in 多賀城) (3)食生活改善推進員による普及(各市町村) 2 食生活改善地区組織育成支援 食を通じたフレイル予防に関する情報提供(会長会議等) 2回	健康推進課
10	○												地域栄養管理対策事業 (食品の適正表示、栄養成分表示活用)	食品表示法及び健康増進法に基づく、栄養成分表示及び健康の保持増進効果に関する誇大表示の防止等に係る食品の適正表示指導を行う。 また、消費者に対する栄養成分表示等の適切な活用について普及啓発を行い、県民の健康づくりに寄与する。	1 食品の表示適正化等指導(事前相談、改善指導・指示等)(保健所) (1)食品表示法に基づく指導(栄養成分表示・保健機能食品等) (2)健康増進法に基づく指導(健康の保持増進に係る虚偽誇大広告の禁止) 2 栄養成分表示の活用に係る普及啓発 食品表示の活用についての普及媒体の作成	健康推進課
11	○									○			学校給食等研修事業	児童生徒の健康と望ましい食習慣の形成を図るため、学校給食関係者に対する研究協議会や食育推進啓発ポスターデザインを募集し、食育カレンダーを作成する。	1 宮城県学校給食研究協議会を開催 2 食育カレンダーを作成し、県内の給食実施校や各市町村教育委員会に配布	保健体育安全課
12	○	○								○			基本的な生活習慣定着促進事業	未就学児や児童生徒の基本的な生活習慣の定着促進を図るため、リーフレットの配付や「ルルブルエコチャレンジ」の実施等による普及・啓発活動を展開する。	1 ルルブル・エコチャレンジ事業の実施(参加者22,821人) 2 ルルブル・ポストカードコンテストの実施(入賞作品10点) 3 みやぎっ子ルルブル推進会議の会員企業・団体数(R6.12.26時点:342団体) 4 基本的な生活習慣定着パンフレットの作成・配布 5 子育て世代を対象とした各種広報媒体(Instagram・フリーペーパー) 6 子育て応援団すこやか2024への参加 7 ルルブルフォーラムの開催	義務教育課
13		○								○			学校保健総合支援事業	県内教育事務所ごとに地域の健康課題に関する課題解決に向けた取組を進める。また、学校保健の充実を図るため、教職員等を対象に食物アレルギー、性教育、薬物乱用防止等の研修会を開催する。	1 県内5教育事務所ごとに地域の健康課題に関する研修会を開催 2 学校保健研修会(課題解決)の開催 3 性教育指導者研修会の開催 4 薬物乱用防止教室指導者研修会の開催	保健体育安全課
14		○								○			体力・運動能力向上センター事業	「体力・運動能力向上センター」を設置し、体力向上に関連する事業を統括して推進することで、市町村教育委員会や各学校へ直接的な啓発・周知を行い、県内の児童・生徒の体力・運動能力の向上を図る。	1 体力向上コーディネーター巡回訪問 ・2名のコーディネーターが県内小231校、県内中128校を年2回訪問し、学校の取組や体育の授業づくりをサポートし、市町村や学校単位で最も組織的な取組の強化を図る。 2 地域センター員による学校間連携 ・小中学校の先生92人を地域センター員に委嘱。効果的な手立てや学校ごとの取組を共有することで、地域の学校が連携し、体力づくりの取組を推進する。 3 健康・体力づくり研修会の開催 ・授業に役立つ実技研修の実施により、体力向上に対する意識の高揚と、体育の指導力の向上を図る。 4 Web運動広場の開催 ・小学校(Web 長 なわ跳び・Web 短 なわ跳び大会・Web マラソン大会) ・中学校(Web マッスル大会)	保健体育安全課

No.	取組分野					生活習慣病の発症予防と重症化予防					ライフコースアプローチ			事業名	事業概要	令和6年度事業の実施状況(R7.2末現在)	担当課
	生活習慣の改善					がん	循環器疾患	糖尿病	COPD	子ども	高齢者	女性					
	栄養・食生活・運動	たばこ	睡眠・休養	歯と口腔の健康													
15		○												みやぎスポーツDAY	広く県民にスポーツ・レクリエーション活動を実践する場を提供することにより、県民一人ひとりのスポーツ活動への参加意欲を喚起し、スポーツの価値を共有しながら、全ての県民がライフステージに応じてスポーツ・レクリエーションに親しみ、豊かな県民生活のより一層の充実に資することを目的として、「みやぎスポーツDAY」を開催するもの。	令和6年9月23日にグランディ・21にて開催(来場者数 908人)	スポーツ振興課
16		○									○			プロスポーツチームとの連携によるスポーツ機会拡大事業	プロスポーツチームと連携し、経済的、環境的な要因からスポーツにアクセスしにくい家庭の児童生徒及び保護者に対し、プロの人材によるスポーツ教室の開催等によりスポーツを「する」機会を拡大するとともに、プロスポーツの試合へ招待しスポーツを「みる」機会を提供するもの。	楽天イーグルス、ベガルタ仙台、仙台89ERSと連携し、スクールへの入会やスポーツ教室の開催、試合への招待を実施。	スポーツ振興課
17		○									○			アスリートと連携したオリ・パラスポーツ交流促進事業	宮城県ゆかりのアスリート等と連携し、運動遊びを通じた幼児期からの運動習慣の定着及び体力向上を図ることを目的としてスポーツ交流機会を創出するもの。	県内各地域にてスポーツ交流イベントを開催(年3回)	スポーツ振興課
18		○												まちなかウォーカブル推進事業	まちなかの歩いて移動できる範囲において、滞在の快適性の向上を目的として市町村や民間事業者等が実施する、道路・公園・広場等の整備や修復・利活用、滞在環境の向上に資する取組を重点的・一体的に支援し、「居心地が良く歩きたくなる」まちなかづくりを推進する事業です。	石巻かわまちエリアまちなかウォーカブル推進事業(事業主体:石巻市) ・ベンチアートの設置:5基 (ベンチにモニュメントを設置し、歩いて楽しい空間を創出する)	都市計画課
19		○										○		地域包括ケア総合推進・支援事業	地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて、市町村が地域住民や専門職等と連携し、地域の多様な資源を活用しながら効果的・効率的な地域支援事業を実施 することができるよう、広域的な観点から市町村支援を実施するもの。	1 総括的事業 (1)宮城県介護予防に関する事業評価・市町村支援委員会の設置・運営 (2)市町村課長等セミナーの開催(R6.5.16) 2 現状分析、実情把握、地域課題分析、実績評価支援事業 (1)地域課題分析・実績評価研修会の開催(R6.8.7,R6.8.27) (2)市町村データの分析・調査 (R6.6.7) 3 自立支援・重度化防止等に向けた地域ケア会議、介護予防に関する市町村支援事業 (1)みやぎフレイル対策市町村サポート事業 ① みやぎフレイル対策関係者会議(R6.8.20) ② みやぎ健康支援アドバイザー派遣による市町村支援(14市町、43回) ③ フレイル対策に係る人材育成(R6.11.14) (2)アドバイザー派遣、先行自治体視察 ① 介護予防・日常生活支援事業 7回 ② 包括的支援事業 64回 (3)高齢者の難聴と誤嚥性肺炎の正しい理解と対応に関する普及啓発事業 3市11回延べ425人 4 リハビリテーション専門職等の活用支援事業 (1)リハビリテーション専門職等の広域派遣調整に係る関係者連絡会の開催 (2)地域の実情に応じた課題解決及び人材育成に関する研修会の開催 (3)リハビリテーション専門職等の人材育成研修会の開催 5 在宅医療・介護連携市町村支援事業 在宅医療・介護連携に関する研修会(R6.8.6,R6.8.20, R6.8.23) 6 一般県民への普及啓発 (1)人と向上・意識定着のための情報発信 (2)フレイル予防の理解促進のためのイベント実施(R6.12.7) 7 健康・生きがいづくり事業 8 地域包括ケア推進協議かいの設置・運営	長寿社会政策課
20												○		地域包括支援センター	地域包括支援センターが担う介護予防支援及び包括的支援事業(①介護予防ケアマネジメント、②総合相談支援業務、③権利擁護業務、④包括的・継続的ケアマネジメント支援業務)を実施し、地域住民の心身の健康の保持と生活の安定のために必要な援助を行うことにより、保健医療の向上・福祉の増進を包括的に支援することができるよう、市町村担当職員及び地域包括支援センター職員の知識と技術の向上を図る。	1 地域包括支援センター職員等を対象とした研修会 (1)地域包括支援センター職員基礎研修(R6.7.17,R6.8.9,R6.9.6) (2)地域包括支援センター職員課題別研修(R6.11.12,R6.12.10) 2 地域包括支援センター機能強化に係る市町村等との課題検討等	長寿社会政策課

取組分野										ライフコースアプローチ			事業名	事業概要	令和6年度事業の実施状況(R7.2末現在)	担当課
No.	生活習慣の改善					生活習慣病の発症予防と重症化予防										
	栄養・食生活・運動	身体活動・運動	たばこ	睡眠・休養	歯と口腔の健康	がん	循環器疾患	糖尿病	COPD	子ども	高齢者	女性				
21		○									○		生活支援サービス開発支援事業	市町村における生活支援・介護予防の体制構築を目的とした、生活支援コーディネーターの活動や協議体の開催等を効果的に実施できるよう、行政・職能団体・事業者団体からなるプラットフォームとして「宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議」を設置し、アドバイザー派遣、伴走的支援、情報交換等を行うと共に、生活支援コーディネーター養成研修の開催、情報誌の発行を実施する。	「宮城県地域支え合い・生活支援推進連絡会議」運営 ・連絡会議を5回、市町村職員等向け事例発表会を1回開催 ・市町村訪問による情報収集・支援ニーズの把握 ・市町村等へのアドバイザー派遣 ・市町村伴走型支援事業 1町 3回予定 ・生活支援コーディネーター等情報交換会 3圏域 ・生活支援コーディネーター養成研修 7回 延べ375人受講 ・県内の好事例等を発信する情報誌を2回発行	長寿社会政策課
22			○		○	○	○	○	○	○		○	受動喫煙防止対策推進事業	健康増進法の遵守に向けた制度の周知や受動喫煙及び喫煙の健康影響等に関する普及啓発	1 宮城県医師会等関係団体と連携し、「受動喫煙をたくない、させたくない」という気持ちをライトアップ活動などで表すイエローグリーンキャンペーンに取り組んだ。 (R6.5.31～R6.6.6) 2 イエローグリーンキャンペーンの啓発資料として、イエローグリーンリボンシールを作成し、市町村の母子手帳交付にあわせ配布した。(R6.5 7,000枚) 3 イエローグリーンキャンペーンの啓発資料として、クリアファイルを市町村、保健所及びみやぎヘルスサテライトステーションへ送付・配架した。(R6.5 5,000枚) 4 みやぎ受動喫煙ゼロ週間(R6.9.1～R6.9.7)に合わせて、パネル展(9/2～9/6)の開催及び県政ラジオによる広報(R6.9.5)により普及啓発を行った。 5 受動喫煙防止宣言施設登録制度(県、仙台市、全国健康保健協会の3者共同)により、施設管理者が受動喫煙防止対策に取り組むことを促進した。(1,462施設(R7.2.1現在))	健康推進課
23													1 妊娠期における歯科保健対策事業 妊産婦及び乳幼児の歯科口腔保健の推進を図るため普及啓発を行う 2 宮城県歯科保健大会 県、県教育委員会、県歯科医師会の共催で表彰や講演を実施 3 フッ化物洗口普及事業 施設への新規導入について、市町村を支援しフッ化物洗口の普及を推進 4 働き盛り世代、職域に対する歯と口腔の健康づくり普及啓発事業 働き盛り世代の歯周疾患への予防啓発 5 口腔機能維持向上事業 働き盛り世代に対して、オーラルフレイル等の口腔機能維持のための知識に関する普及啓発の取組を実施 6 少年期・青年期の歯周病予防啓発事業 高校生等への歯肉炎対策に係る体験型の啓発を実施 7 特定健診歯科口腔保健指導導入事業 特定健診時に歯科保健指導を導入、歯科の側面から生活習慣病の発症や重症化予防を図る	1 妊産婦等向けの啓発リーフレットを改定し、市町村や産科医院を通じて配布(R7.3予定 13,000部) 2 宮城県歯科保健大会において、表彰及び特別講演(「食べる・話す・呼吸する～口腔機能の育て方～」全国小児歯科開業医会会長 土岐 志麻 氏)を実施(57名出席) 3 角田支援学校白石校を対象に、サポート支援者研修会を実施 教員向け研修(1回)、保護者向け説明会(1回)、導入時の技術的支援(随時) 4 タクシー会社(5事業所、従業員数約300名)と連携し、動画による普及啓発、口腔ケア物品の配布予定(1月末～3月中旬予定) 5 オーラルフレイル等の口腔機能に関する知識の普及啓発のため、チラシを25,000枚作成しスマートみやぎ健民会議等を通じて配布(R7.3予定) 6 高校生を対象(東松島高校18名、南郷高校7名)に、歯間清掃用具等の体験等を通じた普及啓発を実施した。 7 市町村(大崎市、名取市、山元町)と連携して、特定健診の集団健診の場を活用した歯科保健指導(歯科医師による口腔内チェック・歯科衛生士による指導等)を行った。(263名)		
24					○			○		○	○	○	「第3期宮城県歯と口腔の健康づくり基本計画」に基づき、県民一人ひとりがその健康状態やライフステージに応じた歯と口腔の健康づくりができるよう支援体制の整備を行い、歯科保健水準の向上を図る。	8 幼児歯科保健関係者研修会 幼稚園教諭、保育士、市町村母子保健担当者等への研修会を行い歯科口腔保健を推進 9 少年期の歯と口腔の健康づくり支援者研修会 小中学校保健主事、養護教諭等への研修会を行い、学童期における歯科口腔保健を推進 10 障害児親子歯みがき教室 障害児の保護者、施設職員等に対する歯みがき指導をととして、障害児への口腔ケアの定着を推進 11 在宅歯科医療連携室整備事業 全県的な在宅歯科医療の相談窓口を設置等 12 障害児・者歯科保健・医療体制整備事業 障害児・者の口腔ケアや歯科治療を行う診療等に対し、人材育成の支援を行うことにより、県内における障害児・者歯科保健・医療体制の拡充を推進	8 「幼児期の歯科口腔保健」をテーマに研修動画を作成し、受講について周知した。 9 養護教諭や学校歯科医向けの教育教材を改訂し、教材を用いた研修会を開催(R7.3.5) 10 障害児親子歯みがき教室を実施 登米市「スリットルーム・スマイル登米」(R6.10.17、参加者：9名) ・名取市「チルハビ増田教室」(R7.1.11予定) 11 宮城県歯科医師会内に「みやぎ訪問歯科相談室」を設置し、口腔ケアに関する相談対応(R6.12 128件)及び在宅歯科医療機関の紹介・情報提供等を行った。 12 障害児・者に対する歯科保健・医療の提供体制整備に向けた人材育成運営会議開催(1回)、人材育成研修会(1回)、施設整備	

No.	取組分野								ライフコースアプローチ			事業名	事業概要	令和6年度事業の実施状況(R7.2末現在)	担当課
	生活習慣の改善					生活習慣病の発症予防と重症化予防			子ども	高齢者	女性				
	栄養・食生活(ヘルシー)	身体活動・運動	たばこ	睡眠・休養	歯と口腔の健康	がん	循環器疾患	糖尿病							
25													13 在宅及び障害児・者歯科医療連携室整備推進事業 在宅及び障害児・者に対する歯科医療提供体制を整備するため、人員の配置及び研修会の実施に補助 14 要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修事業 ヘルパーや施設職員等を対象とした要介護者及び障害児者の口腔ケアの必要性とその方法についての研修を実施 15 口腔保健支援センター運営事業 歯科医療等業務の従事者、市町村担当者等を対象にした啓発、情報収集、人材育成を目的とした研修会を実施し、各種歯科口腔保健施策を推進 16 食育を通じた歯と口腔の健康づくり事業 食育を通じた歯と口腔の健康づくりについて、関係団体と連携した啓発事業を実施 17 市町村歯科保健担当者研修会 市町村母子保健・歯科保健担当者による県内の課題共有と市町村間の情報交換	13 みやぎ訪問救急ステーション対応件数(訪問708回訪問回数中の専門的口腔ケア296回)、運営委員会開催(1回)、歯科医療連携室合同協議会(1回)、窓口への専門職配置、 14 要介護者及び障害児・者の口腔ケア支援者研修会を実施予定(R7.1.20、R7.2.1、R7.2.19) 15 口腔保健支援センターを設置し、歯科専門職を配置した。また、市町村歯科保健担当者研修会を開催した。(R6.10.23、10.25) 16 食習慣や口の健康づくりに関するチェックリスト実施者に、抽選で健康づくりを応援するプレゼントの送付や体験型イベントへの招待を実施。家族ぐるみで学び、考える機会を提供 17 災害時の歯科保健医療体制について学び、関係機関との連携体制整備の一助とするため研修会を開催した(R6.10.23、10.25)	
26							○					がん診療機能強化事業	がん診療連携拠点病院へ補助金を交付し、がん医療の均てん化及び質を確保する。	1 がん情報みやぎ(ホームページ運営)によるがんに関する情報提供、各拠点病院の「がん相談支援センター」による相談対応の実施。 2 拠点病院から小中高校へがん教育の外部講師派遣を派遣(R6年度は先行的に東北大病院で9校実施)、協定企業の協力により、がん教育動画の制作・公開。	健康推進課
27							○					がん検診受診等促進・管理事業	がんの予防と早期発見に関する普及啓発、がん検診の推進と精度管理を行う。	1 9月の「がん征圧月間」にあわせて、がんに対する正しい知識とがん検診受診の啓発を実施((がん講演会開催(R6.9.25)、パネル展開催(県庁ロビーR6.9.9-R6.9.20)) 2 若年女性を対象とする講座(子宮頸がん予防)を実施(大学等4校) 3 小児がん啓発展(パネル展)を開催(R7.2.3-R72.7) 4 宮城県生活習慣病検診管理指導協議会がん部会において、市町村が実施するがん検診の精度管理について審議、指導。(R6.12.18-R7.2.10まで部別別5回開催)	健康推進課
28								○				循環器病対策推進事業	宮城県脳卒中・心臓病等総合支援センターによる相談支援や循環器病に関する情報提供や正しい知識の普及啓発を行う。	1 東北大学病院内に相談支援窓口設置(R6年度 相談件数793件(R7.1末時点)) 2 地域の医療機関、かかりつけ医を対象とした研修会開催(R6年度 30件(R7.1末時点)) 3 県民公開講座の開催(R6年度 各市町村と連携し4回開催(参加者数計320名) 4 リーフレット等の啓発資料の開発(循環器予防リーフレット作成・配布、動画の制作・公開)	健康推進課
29								○	○			生活習慣病重症化予防体制整備事業	生活習慣病の発症予防や重症化予防のため、市町村における保健事業の運営に必要な支援を行うもの。	1 糖尿病治療中断者リストの作成 2 市町村取組状況の集積・フィードバック 3 生活習慣病予防のための効果的な啓発ツール検討	
30								○	○			特定保健指導実施率向上事業	生活習慣病の発症予防や重症化予防のため、市町村における保健事業の運営に必要な支援を行うもの。	1 特定健診保健指導実施率向上事業(保健指導実施体制に係るコンサルテーション) 2 報告・研修会の開催 3 特定保健指導の質の向上のためのデータ分析事業	
31									○			糖尿病重症化予防対策	かかりつけ医や糖尿病指導に関わるメディカル研修や連携会議の開催等により、かかりつけ医と糖尿病専門医等との連携を強化を図るもの。	1 糖尿病対策推進会議 2 糖尿病重症化予防専門研修会 3 糖尿病重症化予防に係る医療従事者研修会 4 糖尿病重症化予防に係る医療連携会議	
32	○	○	○	○	○	○	○				○	女性の健康週間における普及啓発	女性の健康週間(3/1～3/8)に合わせ、女性特有の健康課題やがんのリスク等について普及啓発を行う。	【再掲】 みやぎヘルサテライトステーションにおける女性の健康情報冊子の配架・県庁、保健所等における女性の健康週間ポスター掲示	健康推進課
10 14 5 4 6 7 9 9 4 13 9 7															